

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第120期（平成25年4月9日～平成25年9月4日）

課 目 名	マネジメントと評価
時 限 数	3 時限
担 当 講 師	政策研究大学院大学教授 岡本 薫 ＜プロフィール＞ 東京大学理学部地理学課程卒。OECD 科学技術政策課研究員、内閣審議官(総理タスクフォースメンバー)、OECD 教育研究革新センター研究員、文部科学省課長等を歴任。2006 年より現職。 主著：『なぜ日本人はマネジメントが苦手なのか』（中経出版）、『Ph. P 手法によるマネジメントプロセス分析』（商事法務）、『世間さまが許さない！』（ちくま新書）、『日本を滅ぼす教育論議』（講談社現代新書）、『著作権の考え方』（岩波新書) など
ね ら い	分権化・自由化・規制緩和の時代の自治体職員にとって「自由を使いこなすスキル」である「マネジメント力」は、各自治体独自の政策形成を推進する上で不可欠の能力となっている。本講義は、政策を戦略的に企画・実践するポリシー・マネジメントのプロセスについて、従来のPDCA・PDSなどを越えた、汎用性のある新しい実践的な発想法・手法を修得することをねらいとする。
講 義 概 要	まず、政策形成のための組織マネジメントについて企画・分析・検証等を行う新しい手法である「Ph. P 手法」の概要を学ぶ。 さらに、同手法の7つのステップ(①現状把握、②原因特定、③目標設定、④手段選択、⑤集団意思形成、⑥手段実施確保、⑦評価)に沿って、具体的な失敗事例を示しつつ重要ポイントを解説し、自治体独自の政策を適切に構想できるよう、ポリシーマネジメントのロジカルな実践手法を学ぶ。
受講上の注意	なし
使 用 教 材	・テキスト 岡本薫『なぜ日本人はマネジメントが苦手なのか』（中経出版） ・その他の配布資料(当日配布する)
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし